



写真①

突然ですがクイズです。この写真①の国はどこでしょう？

この国のスーパーには、6種類ものしょうゆがあり、棚にはインスタントラーメン、みそ、豆腐、梅干し、お菓子など、日本の味がずらりと並んでいます。さらに、中古車センターには、日本の幼稚園バスまでありました。



正解は「パラオ共和国(以下、パラオ)」です。日本と深いつながりのあるパラオでは、「ゴメン」「イイヨ」「アツィネ」など、約

65 海外での挑戦2

日本?と錯覚の国: 授業大成功



大阪成蹊大准教授 福岡亮治

千語のパラオ語が日本語に由来しています。そのため、ふと「ここは日本かな?」と錯覚するような場面もあります。

例えば子どもたちがキャッチボールをしていて、ボールがそれた時、投げた子どもが「ゴメン」と言うと、相手の子どもは「ダイジョーブ」と返します。小学校の授業を見学した際、案内してくれた校長先生に「May I take a photo? (写真を撮ってもいいですか)」と英語で尋ねると、校長先生が授業中の先生に向かって「シャシン、ダイジョーブ?」と声をかけていました。



写真②

どちらも日本語とほぼ同じ発音で、パラオでは日常的に使われている言葉です。



そんなパラオで昨年に引き続き、理科の授業をしました。写真②。

実施したのは小学校4校。今回は、パラオの子どもたちにたくさん体験してもらいたかったのでサイエンスショーだけでなく、語らずとも見た目で理解できる実験をたくさん用意し、その実験を手にとりて直接体験しながら自由に見てまわることができた「ミニ科学館」も開催しました。地元新聞2紙にも取り上げられるくらい大盛り上がりで子どもたちに喜

んでもらえるだけでなく、理科の楽しさを伝えることができたという手応えを感じています。

タイ、米国、そしてパラオ。この3カ国で「ユニバーサルデザイン授業」の実践研究を重ねてきましたが、今回で「ひと区切り」。今後はその成果を生かし、日本国内の多様な全ての子どもに対応した「誰もが楽しみ学ぶことができる授業」を実現させたいです。

ちなみに、パラオがぐっと近くなりました。グアム経由で8時間弱だったのが、先月から成田発の直行便が約5時間で就航出来るようになりました。時差もなく、遠浅の海が美しいパラオは日本と深いつながりを持つすてきな場所。この機会に、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。